

6-4
341

新制大學等
 審查報告書
 (上)

春山 116

VI-328

昭和二十七年二月

(大学設置審議会
合同会
常任委員会提出)

新制大学、短期大学等
審査報告書

春山

VI-328

大学設置等審議会合同人会談及公営任事等令
 第一号二七二(一) 控出

第一審査會		申請	結論
番号	大学名		
1	奈良短期大学	新設	不可
2	大阪基督教短期大学	新設	可
3	奈良女子大学	学科名称変更	可
4	近畿大学	機械工学科の一部増設	可
5	日本大学	学科名称変更と学科増設	可
6	大阪市立大学	科目組織の変更と専攻増設	可

春山

大学調査報告書要領 第一編 査査令

種別	専ら		項	査査令
	兼及短期大学			
名称	農業商業専門学校技能教授向上			母体
目的及使命	校舎敷地一五〇〇坪 農場一六〇〇坪 運動場一〇〇〇坪 山林一五〇〇坪			在
校地	校舎敷地一五〇〇坪 農場一六〇〇坪 運動場一〇〇〇坪 山林一五〇〇坪			
校舎等建物	校舎一七〇坪 計四四九坪 農場建物七六〇坪 計四四九坪 一級教室四五五坪 計四七 二級教室四五五坪 計四七 講義室四五五坪 計四七 推定室四五五坪 計四七			現在のところは校地使合が違離する 用済むといふので確定ではない。
図書	推定室四五五坪 計四七			
標本	三五〇八点			
機械器具	四六六具			十分でない
学科組織 及 学生定員	学科	学年別	総定員	
	農業科	四〇	一〇〇	
教員組織	農業科は並内商科は夜間 の授業を行う			商科は成立しない 農科は一定可
	学校法人 奈良学園			法人設立認可申請中
履修方法	不動産一五〇〇坪 田舎一〇〇〇坪 〇〇坪の資産 借入金四〇〇〇坪 農業科学校卒業後 専任金より運営			収入総額年々四七〇〇〇坪を予定している
設置者	学科増を為すといふ			
将来の計画及び その見通し	第一学次			
開設予定学年	昭和二十七年四月一日			
開校年月	昭和二十七年四月一日			

結論 本短期大学に關する調査の結論は昭和二十七年より次に掲げる学科を以て
短期大学を設置することと認めらる。
一学科 農業科 商科(第一学次)
一理由 短期大学設置基準に照して昭和二十七年より短期大学を開設
するに認め難い

種別	専	審査概評													
名称	大阪基督教短期大学 新設	母体 大阪基督教学院													
目的及び使命	神学及び保育に関する 教授研究	差支乏ない													
校地	三七〇六、四三坪	差支乏ない													
校舎等建物	六八二、四九坪	各種の必要を満足せしめ認めらる													
図書	一般教育 二一三冊 神学 四八〇冊 保育 九七冊 その他 三三三冊	大学開設の必要を満足せしめ認めらる 米田に注文中のものが到着すれば更に増加する													
標本	一八四矣	大学開設のための最少限の必要は満たしている													
機械器具	六六九矣														
学科組織	<table border="1"> <tr> <td>学科</td> <td>学生定員</td> <td>総定員</td> </tr> <tr> <td>神学科</td> <td>三五</td> <td>七〇</td> </tr> <tr> <td>保育科</td> <td>七〇</td> <td>一四〇</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>一〇五</td> <td>二一〇</td> </tr> </table>	学科	学生定員	総定員	神学科	三五	七〇	保育科	七〇	一四〇	計	一〇五	二一〇	<p>学科組織 差支乏ない</p> <p>学生定員 保育科は多すぎ</p> <p>神学科は成立している 保育科は成立困難である</p>	
学科	学生定員	総定員													
神学科	三五	七〇													
保育科	七〇	一四〇													
計	一〇五	二一〇													
学生定員															
教員組織		差支乏ない													
履修方法	修業年限二年以上														
設置者	学校法人 大阪基督教学院	学校法人認可と照合のこと													
資産及び進行経費の方法	学校収入 寄附金等による	米田宗蔵団体の寄附金もあり問題なすとの記あり													
将来の計画及びその見通し	昭和三十七年中に二〇〇坪の運動場建設 専門書、実用書、標準、実用書、昭和三十八年 みかほ図書館の新築等	適當である													
開設予定学年	中一年次	差支乏ない													
開設年月日	昭和二十七年四月一日	差支乏ない													

結論

本短期大学に関する審査の結果はその設置者たる学校法人に関する認可があつた場合に於ては昭和二十七年次から次に掲げる学科を七つ短期大学を開設することと認めらる。但し次の事項の履行を条件とする。

一 神学科
二 履修条件
三 共通条件
備考 保育科は成立しない

大学審査報告書要領

第一審査會

奈良女子大学

社会学科の名称を
哲学科に変更する

社会学科の名称は内容的にみる
教員組織も弱いのを、これを哲学科
に改め内容と合致させようとする
ものがある。

結論

大学審査報告書要領

カ一審査会

種別	事項	審査概評
名称	近畿大学理工学部機械工学科	母体 近畿大学理工学部
目的及び使命	機械工学に關する教授及び技術研究	差又乏ない
校地	七、三〇坪(理工学部)	差又乏ない
校舍等建物	専用 四五九坪(機械工学科) 共用 五八一坪	製図室の拡張計画がある 実習工場に部分的照明不足分りところがある。
図書	一般教育 三、〇九冊 専門書 二、三二冊 計 五、四一冊 機械工学科 専用 二、七四冊 計 二、七四冊	差又乏ない
標本及び機械器具	専用 四、一三三(機械工学科) 共用 三、八四四(他の学科) 計 七、九七七(理工学部)	差又乏ない
学科組織	学科 学生定員 理工学部 学生定員 機械工学科 学生定員	学科組織 差又乏ない 学生定員は、多すぎる
教員組織		一応必要は満たすところ認めらる
履修方法	修業年限四年	四年で全課程を履修するに於ては工夫を要する
設置者	学校法人 近畿大学	差又乏ない
資産及び維持運営の方法	学校収入及び寄附金等に よる	差又乏ない
将来の計画及びその見通し	標本機械器具の整備	適當である
開設予定学年	カ一 一年次	差又乏ない
開設年月	昭和二十七年四月一日	差又乏ない

結論

本大学に關する審査の結果は昭和二十七年より次に掲げる学科の増設を可
と認めらる。但し次の事項の履行を條件とする。

- 一 学部学科 理工学部 機械工学科 カ二部
- 二 履行條件

- (一) 製図室、実習工場の照明装置を完了すること
 - (二) 学生定員を一年当り四十名とすること。
- 以下 共通條件

日本大學

農學部の名称を農
獸醫學部に改め、獸
醫學科を増設する。

増設の學科

獸醫學科

入學定員 總定員

八〇名 三二〇名

學校法人日本大學と學校法人東
京獸醫畜産大學が合併改收さ
れたのに伴い、東京獸醫畜産大學
を學校して同大學の畜産學科を
日本大學の農學部畜産學科と
合併し、また同大學獸醫學科を
日本大學の農學部と包含し、日本
大學農學部の名称を農獸醫學
部に改めようとするものである。
この合併は教員、學生、施設の手へ
である。

東京獸醫畜産大學 獸醫學科
と同数である。

畜産學科は日本大學の畜産
學科と改收され、學生、定員は
変更されない。兩者の在學生を合
して、日本大學農學部畜産學
科の定員(100)を越えない。

現在在學生が一、二、三年次がある。

學科増設の時期

昭和二十七年四月一日

前設學年

十四年次まで

結論

本大學と関する審査の結論は、學部の名称を改め、學科
を増設することに認めらる。

大学審査報告書附録

第一審査会

大阪市立大学

各学部の科目組織の変更
専攻の増設

大学設置当初の学科組織

今回申請の学科組織

<p>商学部 商学部内 会計学部内 法律学部内 経済学部内</p>	<p>商学部 商学部内 会計学部内 法律学部内 経済学部内</p>	<p>経済学部 経済学部内 経済史部内 経済政策部内 法律学部内</p>	<p>経済学部 経済学部内 経済史部内 経済政策部内 法律学部内</p>	<p>法文学部 法文学部内 民法部内 刑法部内 公法部内</p>	<p>法文学部 法文学部内 民法部内 刑法部内 公法部内</p>	<p>法文学部 文学部内 哲学部内 史学部内 文学部内</p>	<p>法文学部 文学部内 哲学部内 史学部内 文学部内</p>	<p>家政学部 家政学部内 食物学科 被服学科 社会福祉学科</p>	<p>家政学部 家政学部内 食物学科 被服学科 社会福祉学科</p>	<p>理工学部 理工学部内 数学部内 物理学部内 化学部内 生物部内 地学部内 工学部内 建築学部内 電気工学部内 応用化学部内 機械工学部内 応用物理学部内</p>	<p>理工学部 理工学部内 数学部内 物理学部内 化学部内 生物部内 地学部内 工学部内 建築学部内 電気工学部内 応用化学部内 機械工学部内 応用物理学部内</p>
---	---	--	--	--	--	---	---	--	--	---	---

変更の時期 昭和二十七年四月

変更実施の学年 第四年次から

結論
本大学に關する審査の結論は、各学部の学科組織を申請のとおり変更し、専攻を増すことと認めらる。但し、次の事項の履行を條件とする。

履行条件
一 法文学部法文学科内、地理学専攻の教員組織を強化すること。
二 理工学部の教員組織を速やかに増強すること。
三 機械部内の助教を増強すること。
以下共通条件

備考
専攻をたけ部内毎に学生定員を定めたい旨が希望かかたため一部内に学生が殺到し、ときに設備の不足をきたすことのないよう工夫をすべし。

第二審查會

大 李 石	原 業 短 期 大 李	新 設	申 請	結 論
重 慶 大 李 工 業 短 期 大 李 部	新 設	新 設	請	條 件 付 可
				條 件 付 可

短期大学審査報告書要領

第二審査会

種別	事項	審査概評
名称	東京交通短期大学(新設)	編成学校 豊島実業高等学校 昭和鉄道高等学校
目的及び使命	健全な人格を育する優秀なる交通従事員を育成する。	
校地	専用 六二九五坪九四 共用 二二四坪一三	環境は良好である。
校舎等建物	専用 一、二二五坪〇五 共用 一、〇一二坪六七	坪数としては適当である。短大に適合しては余り適当ではなく、研究室実験室習室は整備されていはい。
図書	専用 七一〇冊 共用 一五九八七冊	一般教育の図書中、社自関係のものは専門図書に充たしては乏しい。増強を要す。
標本	専用 三二三点 共用 五二三点	整備せらるる模様である。
機械器具	専用 三九〇点 共用 五〇九点	整備せらるる模様である。
学科及び学生定員	学科 運輸学科(夜間) 一三五 二七〇	運輸学科を運輸科第二部とする。学生定員は専修生一〇名(統定員一六〇名)とする。
教員組織		教員組織特に一般教育担当の社会科系は自然科は関係が弱く、新進の専任教員を補強する必要があり、特殊の短大であるだけに、少くとも角成直すと認められ、文部省の要請に従う。
履修方法	標準通り	差支えない。
設置	学校法人 豊昭学園	寄附行為変更認可申請中
維持経営の方法	校舎の他寄附金による	差支えない。
出納の計画	商業科等の学科増設	
開設の時期	昭和二十七年四月一日	可

審査の結論

本短期大学に因りて審査の結果は、その設置者たる学校法人に因りて認可がある。在場合においては、昭和二十七年四月一日に掲げる条件を具備し、短期大学を開設することと認可を認める。但し次の事項の履行を条件とする。

- 一、学科 運輸科第二部
 - 二、履行条件
 1. 校舎を改修し、研究室実験室習室を整備すること。
 2. 図書を増強すること。
 3. 教員組織を補強整備すること。
 4. 入学生定員を八〇名(統定員一六〇名)とする。
- 以下、例文

短期大学審査報告書要領

第二審査会

種別

事項

審査概評

名称

千葉大学工業短期大学部(新設)

目的

及印刷及び写真に関する実務的な専門職業に重きを置くべく大学教育を施し良き社会人育成を期す。

校地

二六八九一坪

校舎等

建物

一八四坪
一、八二一坪
一四四

図書

書

八六五三冊
一、五五七九冊

標本

専用

六三英

器械

専用

三七一英

器具

共用

一五六三九英

学科及び

学

印刷科

写真科

学年

第一学年

設置者

国費

維持経費

の方法

特許

審査

の結論

時期

昭和二十七年四月一日

可

適当である。

一、学科

印刷科第二部

写真科第二部

二、履行条件

1. 夜間照明の施設を行うこと。

2. 教員組織は学年進行に伴い充実すること。

以下例文

第三審査会

北海道大学 獣医学部 獣医学科
高崎市立短期大学 商学科

増設
新設

条件付可
条件付可

VI-328

大学審査報告書要領

種別	事項	審査概評
名称	北海道大学獣医学部(増設)	可
目的及び使命	各	可
校地	専用 一七三四坪	可
校舎等	専用 九八八坪 共用 四〇〇坪 計一〇二八坪	学生の実験実習室は予定計畫通り拡充整備する必要があり、講座の増加に伴い、心臓の教官研究室と予定計畫通り拡充整備する必要があり、一応可
図書	専用 一六三〇坪	
標本	専用 九九六七四葉	一応可
機械器具	専用 一四三六五葉	学年の進行に伴い、整備増強する必要があり、
学科組織及び学生定員	学部、学科 獣医学部 獣医学科 学生定員 学部、学科 一学年当 總定員 四〇 一六〇	差支之ない。
教員組織	一応可なり、計畫通り増強する必要があり。	
履修方法	修業年限 四年	差支之ない。
設置者	国 国費	"
開設予定年次	沖一年次、沖二年次	"
開設年月	昭和二十七年四月	"
結論	本大学に因りて審査の結論は、昭和二十七年度から次に掲げる学部学科を増設することと認め、但し、次の事項の履行と条件とする。	

一 学部学科 獣医学部 獣医学科
 二 履行条件
 1. 専門科目の教員組織と計畫通り増強すること。
 2. 学生の増加により、必要の学生の実験実習室 及び講座の増加に伴って必要の教官研究室と予定計畫通り整備拡充すること。以下例文
 備考 獣医学部の独立によって、畜産学科の授業に支障の無いように措置すること。

審査報告要領

中三審査会

種別

高崎市立短期大学(新設郡馬県)

概評

名称

高崎市立短期大学(新設郡馬県)

可

目的及使命

略

可

校地

専用二二五〇坪

差支えない。

校舍等建物

専用一四五坪

一応差支えない。

図書

一般教育 三二二九冊
専門 四二八三冊

〃

標本

専用一〇〇点(免注済)

〃

機械器具

専用二九〇点(免注済)

〃

学科組織

学科 学生定員
入学定員 総定員

教員組織を照会して学生入学定員を二〇〇名とする。

学生定員

高専科 四〇〇 八〇〇

〃

教員組織

開設には一応差支えないが専任教員を増強することを要する。

履修方法

二年以上

差支えない。

設置者

高崎市

〃

市費

〃

〃

開設年月

昭和二十七年四月

〃

結論

本短期大学に関する審査の結論は昭和二十七年度から次に掲げる学科を以て短期大学を開設することを可と認める。但し、次の事項の履行を条件とする。

一、学科 高専科

二、履行条件

1. 主要専門科目の専任教員を増強すること。
 2. 標本、機械器具を予定計画通り整備充実すること。
 3. 学生入学定員を二〇〇名とすること。
- 以下例文
備考、可及的速に専任教員を四箇人に増強すること。

審査報告要領

第四審査会

種別	事項	概評															
名称	芝浦工業短期大学を芝浦短期大学に改称 中二部学科増設	可															
目的及使命	交通就業食を主として教育するを目的とする。	可															
校地	総坪数 10,080坪(大学と共用)	可															
校舎及建物	総坪数 1,821坪(大学と共用)	可															
図書	2,329 (一般教養 782冊)内専用 (専修) 1,348冊) 三三五一冊	一応可															
標本	総数 558点 共用 三三六点 専用 二二二点	一応可 [不足を要する]															
機械及器具	総数 二二三点 (専用 二五七点 共用 一九七五点)																
学部学科 及 学生定員	<table border="1"> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>一学年当</th> <th>総数</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">交通科</td> <td>専攻</td> <td>40</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>専修</td> <td>40</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>二部</td> <td>専攻</td> <td>40</td> <td>160</td> </tr> </table>	学部	学科	一学年当	総数	交通科	専攻	40	80	専修	40	80	二部	専攻	40	160	可
学部	学科	一学年当	総数														
交通科	専攻	40	80														
	専修	40	80														
二部	専攻	40	160														
教員組織	基準 以下	可															
履修方法	学校法人 芝浦学園	可															
設置者	授業料・入学・金檢定料 (国鉄からの補助金を他)	可															
資産管理維持 経営の方法 将来の計画 及その見越し	特記すべき事項はない。	可															
併設予定学年	輸送科 交通営業科(一学年次)	可															
開設年月	昭和二十七年四月	可															
結論	<p>本短期大学に關する審査の結論は昭和二十七年 度から次にあげたる事項の増設を可と認むる但し次の事項の履行を條件とする。</p> <p>一 学科 交通科(営業専攻) 輸送専攻</p> <p>一 履行条件 以下別文</p> <p>一 新設科に必要とした設備可能を標本・機械器具を設計すること。</p>	可															

第五審査会

静岡法政短期大学	岐阜大学	大学名
新設	工学部増設	申請
保留	条件付可	結論

VI-328

審査報告書要領 一第五審査会

種別	事項	審査概評																	
名称	岐阜大学工学部増設	岐阜県立大学工学部の移管であり差支えない																	
目的及使命	畧	差支えない																	
校地	四〇三三坪	将来一三三七一坪を(うち専門教育用として一〇七七坪を岐阜市外那加町に、一般教育用として二六〇坪を工学部が校地拡張として市内長良にそれぞれ)予定して移転する旨である。																	
校舎及建物	二六四三坪五五	将来四〇三四坪を(うち専門教育用として三六二坪を岐阜市外那加町に、一般教育用として四二二坪を岐阜市内長良にそれぞれ)運増築し移転の予定である。																	
図書	一三五六八冊	県立大学工学部認可当時より二八八五冊増加しており差支えない																	
標本	四六三頁	差支えない																	
機械及器具	七五二九頁	県立大学工学部認可当時より六〇六七頁増加しており差支えない																	
学部学科 学生定員	<table border="1"> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>学生定員</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">工学部</td> <td>機械工学科</td> <td>四〇〇</td> </tr> <tr> <td>繊維工学科</td> <td>四〇〇</td> </tr> <tr> <td>土木工学科</td> <td>一六〇</td> </tr> <tr> <td>工業化学科</td> <td>一六〇</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>一六〇〇</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>一六〇〇</td> <td>六四〇</td> </tr> </table>	学部	学科	学生定員	工学部	機械工学科	四〇〇	繊維工学科	四〇〇	土木工学科	一六〇	工業化学科	一六〇	計	一六〇〇	計	一六〇〇	六四〇	差支えない
学部	学科	学生定員																	
工学部	機械工学科	四〇〇																	
	繊維工学科	四〇〇																	
	土木工学科	一六〇																	
	工業化学科	一六〇																	
	計	一六〇〇																	
計	一六〇〇	六四〇																	
教員組織	畧	〃																	
履修方法	基準による	差支えない																	
設置者	国	〃																	
資産及維持 至管の方法	国費支辨	〃																	
将来計画 及その見通し	現在地岐阜県羽島郡笠松町より岐阜市外那加町に移転する予定である。及び岐阜市内長良	予定計画が完成すれば移転申請をする旨である																	
開設予定学年	第四学年まで	差支えない																	
開設年月	昭和二十七年四月	差支えない																	

結論 本大学に関する審査の結論は、昭和二十七年度から次に掲げる学部学科の増設を可と認める。但し岐阜県立大学工学部設置認可の際の履行条件を引続き履行すること。

- 一 学部学科 工学部 機械工学科 繊維工学科 土木工学科 工業化学科
- 備考 岐阜県立大学工学部認可の際の履行条件
- 一 図書等に数学物理学に関するものを完成年度までに完成すること
 - 二 物理学化学に関する実験実習設備を充実すること
 - 三 学科定員外の定員八〇名は定員内に繰入ること
 - 四 県立工業試験場はなるべくすみやかに併合すること

女子大学 四年制大学・短期大学 別科審査一覧

昭27・2・11

名称	施設	専攻科目及び入学定員	修業年限	昼夜の別	教員組織	開設年月	備考
女子美術大学 短期大学部 服飾別科	別科専用 学長室 1室 10坪 10人 事務室 1 " 8 " 6 " 教員室 1 " 10 " 15 " 医療室 1 " 8 " 4 " 教室 2 " 35 " 160 " 会議室 1 " 20 " 30 " 講堂 1 " 66 " 400 " 特別教室 2 " 16.5 " 80 " " 1 " 18 " 45 " 作法室 1 " 34 " 70 "	服飾別科 オ1部(昼間) 80名 オ2部(夜間) 80名 専攻科目 20単位 一般教養 11 " 随意科目 茶道・華道・書道	オ1部 1年 オ2部 1年6ヶ月	昼夜	教授 (兼担兼任) 4 助教授 (") 2 講師 (") 10	昭和27年4月1日	施設は本学とは異なる地に財団法人桃園学園の土地建物について同学園との賃貸借を契約してある。
三島学園女子短期大学 被服別科	特別教室 1室 18.25坪 60人 普通教室 1 " 20 " 60 " 研究室 2 " 6 " 4 " 他は共用	被服別科 60名 被服-開拓科目 25単位 家政(被服を除く) 4 " 一般教養・体育 3 "	1年	昼	教授(兼担兼任) 2 助教授(") 4 講師(") 5	昭和27年4月1日	可
盛岡短期大学 家政別科	(専用) 講義室 1室 20坪 60人 (共用) 調理教室 1 " 30 " 50 " 保健研究室 1 " 20 " 40 " 家政 " 1 " 25 " 30 " 被服研究室 1 " 35 " 50 " 保健衛生室 1 " 15 " 30 "	家政科別科 60名 家政-開拓科目 週19時間	1年	昼	教授(兼担) 2 助教授(") 1 講師(兼任) 6	昭和27年4月1日	可
米沢女子短期大学 家政(別)科	(専用) 被服工作室 1室 25坪 40人	被服工作(和洋) 40名 被服概論 服飾美学 被服整理 食物調理 随意科目 法学・文学・音楽・体育・美術	1年	昼	助教授(兼担) 1 講師(") 8	昭和27年4月1日	可